

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月18日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2970800146
法人名	医療法人鴻池会
事業所名	琴 弾 の 家
所在地	御所市池ノ内1064 (電 話) 0745 - 64 - 2180
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成20年10月10日

【情報提供票より】(20年9月5日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 13年 4月 8日
ユニット数	1 ユニット
利用定員数計	9 人
職員数	8 人
常勤	8 人
非常勤	人
常勤換算	8 人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨ACL造り 平屋 建て
------	------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	37,200 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 200,000円) 無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		780円	

### (4) 利用者の概要(9月5日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名	
要介護1	3 名	要介護2	1 名			
要介護3	3 名	要介護4	2 名			
要介護5	名					
要支援2	名					
年齢	平均	84.6 歳	最低	72 歳	最高	96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人鴻池会 秋津鴻池病院
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

金剛・葛城の山並みが眼前に広がる広大な敷地に、病院を核に医療・健康・福祉の総合的的事业が展開されている中で開設されたホームです。事業所内は清掃も行き届き清潔で、また、採光や室温調整が適切になされ穏やかに暮らせる環境が整えられています。入居者は、経験や能力を發揮する機会や場面があり、安心・満足を覚えながら生活されています。また、職員は運営理念を基本に生活支援に努められています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	運営推進会議が設置されていませんでしたが、会議の設置目的や機能を理解され、幅広い構成メンバーで会議が設置されました。なお、会議では、運営上の諸課題等について意見交換され、サービスに活かす取り組みがなされています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービス評価の意義・目的を正しく認識され、自己評価に当たっては職員の参画の下に実施され、課題等の把握とサービス内容を検証する機会と位置づけられています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、幅広い構成メンバーにより設置され、入居者の状況や事業所の活動について報告・意見交換等がなされています。なお、入居者・家族代表の会議への参画を検討されており、実現を期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	電話による定期報告(2週間毎)時や家族の訪問時に、意見や心配事等を聞き出し、職員会議で検証・協議され運営に反映させる事とされています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	近くの小・中学校の運動会や音楽会・コンサート等への参加等により、地域との交流に広がりがみられますが、立地環境から日々の暮らしの中での付き合いは希薄と感じられます。地域密着型サービスへの制度改正に伴い地域との関りが重視されていますので、課題はありますが、この視点を大切にしたい取り組みを期待します。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者本位を基本に、家庭的な環境の中で安心と尊厳ある生活の維持・継続を方針とする理念がつけられています。		地域密着型サービスへの制度改正により、地域との関りをより重視されたことから、実質的な地域社会との交流等に拡がりが見られますので、運営理念(方針)に明確に打ち出される事が望まれます。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	定例会議や毎日の朝礼時に確認しあい、実践に活かす取り組みがなされています。		「利用者の立場に立ってサービスを提供し、自立を支援する」とする法人の理念があり、事業所内にも掲出されていますが、事業所独自の運営理念の検討を期待します。
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	立地環境の克服に努め、近くの小・中学校の運動会や音楽会・コンサート等への参加により地域社会との交流に拡がりが見られますが、日々の暮らしの中での付き合いは希薄感があります。		本人や家族の思いもある様ですが、事業所も地域社会の一員として、地元自治会への加入や地域活動への参加等により、一層の拡がりを期待します。
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義・目的を正しく認識され、職員の参画・ミーティングで自己評価し課題の把握とサービスの質の向上に活かす機会とされています。また、外部評価結果についても職員会議等で周知し実践に活かす事とされており、運営推進会議にも報告されています。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の設置の目的・役割を理解され、行政職員や地元代表等幅広いメンバーで会議が設置され、定期的開催されています。会議では、入居者の状況や事業所の活動報告等がなされ、それぞれの立場から意見の開陳があり、運営に活かす仕組みとされています。		会議の構成メンバーに入居者・家族代表の参画が検討されていますので、実現を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政との関りは、運営推進会議が中心となっている現状にあります。		地域密着型サービスに位置づけられたことから、行政への報告・相談・連絡・情報交換等により理解・協力を得る事が不可欠と考えますので一層の連携を期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の訪問時に、本人の生活の様子等を報告されると共に、2週間に1度の割合で、健康状態や暮らしぶりについて電話連絡されています。なお、状態に変化が見られる時には、随時に報告・相談する事とされています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に担当職員から積極的に話し掛け、意見や心配事等を聞きだす取り組みがなされ、職員会議で協議・検討し運営に反映する仕組みがあります。また、運営推進会議委員の来訪時に、入居者等と話し合う機会を設定されています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	安定した生活の維持・継続には、入居者と職員の馴染みの関係が大きな要素であるとの認識から、職員異動には十分配慮されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	サービスの質の向上は、職員の質の向上が不可欠との考えがあり、積極的な外部研修の受講と共に、毎月のケア会議で話し合いが持たれ研鑽に努められています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者や研修会等で知り合った事業所職員との情報交換等がなされていますが、相互訪問や勉強会を持つところまで至っていません。		サービスの質の向上を目指す上で、他事業所の取り組みも大いに参考となり、職員の質の向上への効果も期待できますので、相互訪問等について検討される事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居は本人の納得が前提と考え、家族と一緒に事前面接を2回以上実施し信頼関係の構築に努めると共に、事業所の見学や必要な方には体験入居を取り入れ、安定した入居へ繋がられています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	「入居者本位・人格の尊重」の運営理念を基本に、特技や能力が発揮できる機会・場面作りに工夫され支援されています。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントでの本人や家族の思い・意向等の把握と暮らしの中での言動等から得た情報を解析・蓄積が図られています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	全職員の参画の下にカンファレンス会議が持たれ、十分な意見交換し介護計画を作成する事とされています。なお、家族等の意向も反映されています。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月、解決すべき課題を基に介護計画の見直しが行われています。また、状態に変化が見られる時は、家族や関係者が相談し、随時見直しも実施されます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の要望を把握され、また家族の状況を勘案して、買い物・散髪等に弾力的な支援が図られています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には、医療法人鴻池会が運営する病院で受診する事とされていますが、本人の希望があれば、かかりつけ医の受診にも対応されています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化への対応は、法人の関係施設で対処する事で解決されています。終末期への対応については、事業所がとれる最大限の範囲を説明され、家族等の理解・了解を得ておられます。		終末期への対応については、利用約款に一部明記されていますが、家族等にとって高い関心事であると思われるので、その方針の明確化と記述及び全職員の共有・理解への取り組みを期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人格の尊重が理念の大きな柱の一つである事から、見守り中心の支援が実践され、また、言動には常に留意して、誇りやプライバシーの維持・確保に努められています。なお、個人情報に係る記録等は、所定の場所で保管・管理されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の基本的な生活の流れが設定されていますが、食事や入浴等は本人のペース・リズムや意思を尊重され、本人本位の支援に努められています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ダイニングに調理空間があり、職員と一緒に食事準備(配膳・盛り付け等)に協働されており、楽しい雰囲気の中で摂られています。なお、身体の状態に合わせて調理方法に工夫がなされています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は24時間利用可能な状態を確保され、本人のペース・意向に沿った支援がなされています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居時に生活歴や特技・趣味の把握と暮らしの中で出来そうな事を見つけ出し、個々の能力が発揮出来る機会・場面(食事準備・畑仕事・生け花・裁縫等)作りに工夫され支援されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出により受ける様々な刺激の効果を認識され、広い敷地内や周辺の散歩を日常的に取り入れると共に、買い物等を組み入れ外出機会の確保が図られています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	しっかりした見守りがなされている事から、玄関は常に開放されており、入居者の行動が制約される様な事はありません。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地元の消防署の指導の下に、定期的に避難訓練が実施されています。また、火災発生を想定して法人全体の応援体制が整備されています。なお、震災に備え、緊急非常物品の確保も図られています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量は把握されており、栄養バランスについては、関連事業所の管理栄養士が献立表で工夫する取り組みがあります。なお、状態に応じた調理への工夫もなされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るく広い共用生活空間は、清掃が行き届き清潔感が溢れています。また、テーブルに季節の花が生けられ、飾りつけも雰囲気を壊さないよう工夫され、穏やかに過ごせる空間が確保されています。なお、玄関ホールにソファが置かれ、思い思いに過ごせる場所も確保されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具・調度品や好みの物が持ち込まれ、安心して暮らせる場所となっています。		